

「夏扇パワー」に替わる夏ねぎ優良品種の選定

県産ねぎの主力作型は秋冬ねぎであるが、出荷市場からは秋冬ねぎの販売を有利に進めるため夏ねぎからの長期継続出荷を求められている。また、栽培面積を拡大するうえでも作型分散が必要であり、夏ねぎの生産安定は重要な課題である。

夏ねぎ作型の主力品種「夏扇パワー」は葉鞘の伸長性、肥大性に優れ、生育期間の短い夏ねぎに適した特性を持っているが、えり部の締まりが不良でえり裂けが発生しやすいためA品率が低下する欠点がある（写真1）。そこで、ねぎ産地を抱える普及指導センターと園芸研究センターが連携して、「夏扇パワー」に代替する優良品種を選定するため品種比較を行ったので、その結果を紹介する。



写真1 夏扇パワーのえり裂け
(H25.8 全農出荷目合わせ会)

1 調査期間及び方法

- (1) 供試品種 共通品種 夏の宝山（みかど協和）、T S X-511（トキタ）、夏山一本太（中原）
対照品種 夏扇パワー（サカタ） *その他産地独自品種あり
- (2) 調査方法
ア 場所 新潟市（北区南浜・木崎、中央区、西区、西蒲区）、五泉市
イ 調査項目 生育調査、収量調査、品質調査

2 調査結果の概要

(1) 生育（五泉市）

定植後は定期的な降雨があり活着は良好で初期生育は順調であったが、5月の乾燥で生育が停滞気味となった。特に「夏の宝山」で葉先枯れの症状が多く見られた。6月以降、梅雨入りに伴う降雨と生育適温から生育は一気に進んだ。葉鞘の伸長（分岐長）については、初期は品種間差は少なかったが、生育が進むとともに「夏山一本太」が長くなった（図1）。葉鞘径については生育初期から「夏山一本太」が他品種よりも肥大がよい傾向にあったが、大差は見られなかった（図2）。

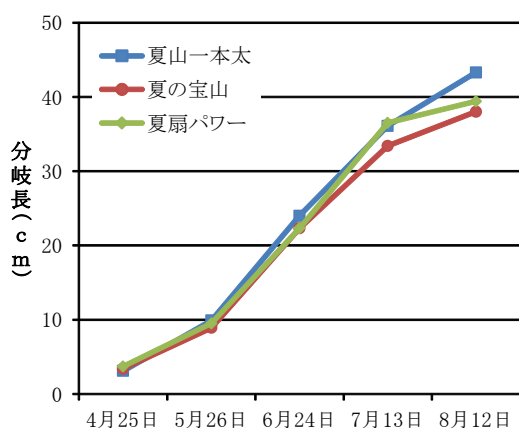


図1 分岐長の推移（五泉市）

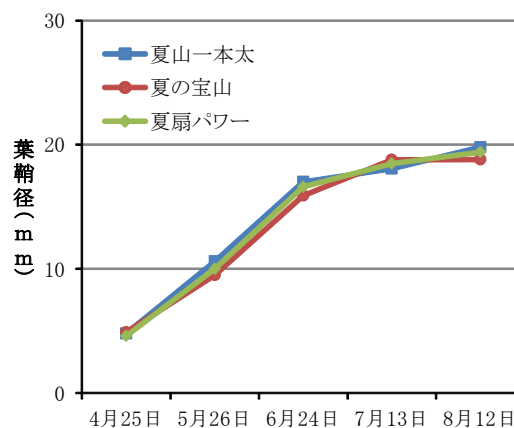


図2 葉鞘径の推移（五泉市）

(2) 収量性

ア 五泉市（8月13日調査）

収量は「夏山一本太」がもっとも多く、太物（2L、L）率が高かった（図3）。「夏扇パワー」は肥大にばらつきが大きく、えり部に土が入った株が散見された（写真2）。「夏の宝山」は収穫時の根量が少なく、葉先枯れや葉枯病が発生し規格外が多くなった。

イ 新潟市西蒲区（8月18日調査）

「夏扇パワー」は2L比率が50%を超え最も多収となった。「夏山一本太」と「夏の宝山」は、「夏扇パワー」と比べ2L比率が低いものの、L以上比率が90%以上と同程度の収量となった。しかし、「夏の宝山」は葉鞘の伸長が不良で機械（ソフィ）での収穫がうまくできなかった。「TSX-511」は葉鞘の肥大が悪いことに加え軟腐病の発生によって収量は大きく劣った（図3）。

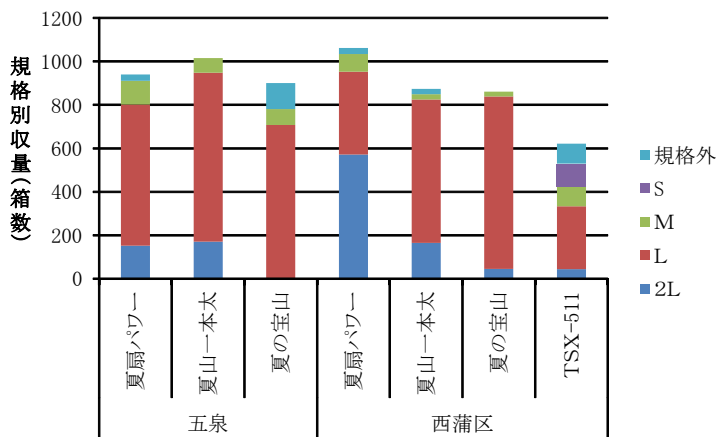


写真2 えり部の土壌混入 (夏扇パワー)

図3 規格別収量の比較

(3) えり裂けの発生

各地区でのえり裂けの発生程度はばらつきが見られたが、「夏扇パワー」に比べて「夏山一本太」は西区を除いてかなり低い発生率で、「夏の宝山」と「TSX-511」は同程度かやや低い発生率であった（表1）。

表1 えり裂けの発生割合(%)

品種名	北区南浜	北区木崎	西区	西蒲区	五泉	園研
夏扇パワー	-	-	33.5	13.0	44.4	51.7
夏山一本太	-	-	65.0	5.0	0.0	28.7
夏の宝山	-	-	28.0	13.0	13.9	44.4
TSX-511	63.0	30.0	32.0	17.0	-	41.4

3 考察 (総合評価)

(1) 共通品種 (表2)

「夏山一本太」は「夏扇パワー」に比べてえり部の形が良くえり裂けが少なく、葉鞘の伸長と肥大は並かやや劣るものの総合評価は高かった。しかし、さび病の発生や箱詰め時の葉割れの発生が懸念されるとの声もあった。また、西区の実証では評価が低く地域間差が見られた。

「夏の宝山」は「夏扇パワー」に比べてえり裂けの発生は並で、葉鞘の肥大も並であったが、葉先枯れが発生するなど根張りが弱いと思われる。そのため葉鞘の伸長はスプリンクラーかん水が可能な地域でも劣っており、夏ねぎとしての適性は低いと考えられる。また、機械収穫も困難であった。

「TSX-511」は「夏扇パワー」に比べて葉鞘の伸長は良いものの肥大が悪く収量性が低かった。また、多くの地域で軟腐病が多発しており、夏ねぎとしては適性はないと考えられる。

表2 共通品種の特性概評表

品種名	地区名	えりの形	つまり	えり裂け	葉鞘の伸長性	葉鞘の肥大性	そろい	葉色	作業性	収量性	総合評価	コメント
夏山一本太	五泉	1.4	やや長	少	並	やや太	良	やや濃	やや易	多	◎	生育後半にさび病多い
	西蒲区	1~2	並	少	やや長	やや細	不良	並	並	やや少	◎	栽培者の評価高い、えりの形良い
	園研	1.5	並	少	並	並	並	-	難	やや少	△~◎	葉身が開帳性(出荷調整作業に支障)
夏の宝山	西区	2	短	多	短	並	不良	濃	難	少	×	
	五泉	2.1	やや長	やや少	やや短	並	並	並	やや難	並	△	葉がれ症状多い
	西蒲区	2	短	並	やや短	やや太	並	薄	難	やや少	△	葉鞘長短く、機械収穫困難
TSX-511	園研	2.8	並	並	短	やや細	並	-	並	少	×	全長短く、葉身太い
	西区	2	並	並	並	並	良	薄	並	多	△	
	西蒲区	2	長	やや多	やや長	細	やや不良	並	並	少	×	葉鞘の太りが悪く、収量性が低い
	園研	2.7	長	やや少	長	極細	やや不良	-	やや難	極少	×	全長長く、葉身細い、伸び早い
	西区	2	長	並	長	並	並	並	難	少	×	軟腐病多、根張りが良い
	北区南浜	1.9	長	並	長	やや細	並	薄	並	並	△	軟腐病多、夏扇4号との比較
	北区木崎	1.5	並	多	長	並	並	並	並	並	△	軟腐病多、ホワイトタイガーとの比較
中央区	1	並	少	長	細	やや不良	並	並	少	×	軟腐病多、吉宗との比較	

* 基本的に対照品種「夏扇パワー」と比較して記入。同等ならば並評価、適宜ややを付けても可。

えりの形(指数記入) : 1..直角、2..1と3の中間、3..斜め (夏扇パワーの評価は3)

つまり : 短、並、長

えり裂け : 多、並、少

葉鞘の伸長性 : 長、並、短

葉鞘の肥大性 : 太、並、細

そろい : 良、並、不良

葉色 : 濃、並、薄

作業性 : 易、並、難

収量性 : 多、並、少

総合評価 : ◎..優れる、△..並、×..劣る

(2) 共通品種以外の有望品種 (表3)

「大地の響き」(トキタ)は3地区のうち2地区が「夏扇パワー」以外の品種との比較であったが、根張りが良く葉鞘の伸長が早かった。えり裂けの発生も並からやや少く、収量性も「夏扇パワー」にはおよばないもののある程度確保された。目立った病虫害被害はなかった。

「一翠太」(カネコ)は、「夏扇パワー」に比べて定植後の生育が良く、早い盆前出荷の適性があると考えられる。また、収穫期にえり裂けが多くなったが、追肥量の調整で軽減の可能性があると考えられる。

「ホワイトサマー」(タキイ)は取り遅れでえり裂けの発生が多く、葉鞘の肥大は劣るが伸長が良いため夏ねぎとしての適性があると考えられる。また、欠株が少ないため収量性は高かった。

表3 共通品種以外の特性概評表

品種名	地区名	えりの形	つまり	えり裂け	葉鞘の伸長性	葉鞘の肥大性	そろい	葉色	作業性	収量性	総合評価	コメント
大地の響き	北区木崎	1.8	並	多	長	並	並	並	並	並	◎	えり裂けは他ほ場では少、ホワイトタイガーとの比較
	中央区	2	並	並	長	並	並	並	並	並	△	吉宗との比較
	西蒲区	2	やや短	少	やや長	やや細	並	やや濃	並	やや少	△	白矢と夏扇パワーとの中間的品種
一翠太	西蒲区	2~3	長	多	やや長	やや細	良	濃	難	やや少	△	えり裂け多いが、減肥で改善見込み
ホワイトサマー	北区木崎	1.9	長	多	長	細	並	薄	並	多	◎	早期の伸長肥大性良い、ホワイトタイガーとの比較

4 今後の課題

(1) 「夏山一本太」の試作ほ場の拡大

「夏山一本太」は葉鞘の伸長と肥大に優れるとともにえり部の形が良く、えり裂けや軟腐病の発生が少ないなど夏ねぎとしての適性が高いと考えられる。しかし、評価に地域間差が見られた。次年度は共通品種以外の有望品種も組み入れて、産地の多くの栽培者から試作してもらい評価を固めていく活動が求められる。

(2) 「夏扇パワー」の栽培技術改善

夏ねぎの産地である東北各県では、「夏扇パワー」はえり裂けの欠点はあるものの、葉鞘の伸長と肥大の良さや多収性を評価し主力品種に位置づけている。今回の品種選定の検討会でも「夏扇パワー」の夏ねぎ適性を評価する意見が多数出された。

「夏扇パワー」のえり裂けを軽減する栽培技術は多岐に渡る改善となり、現場で確立するのは難しいと考えられるため、試験研究における課題化が必要である。

【経営普及課農業革新支援担当 増田浩吉】